

# おおの 議会だより

No.49  
57.5.1



「あっ破れたわ」「ワイ出来たぞ」と元気な声が聞えます。  
義景保育園の園児たちは5月5日の「子供の日」を前に、こいのぼりを作りました。澄みきった大空に勢いよく泳ぐこいのぼりのように、園児たちもスルスクとたくましく成長することでしょう。



# 市政をきく

## 代表・一般質問

### 果たして冬場水は流れるか

真名川水利権の更新  
—非かんがい用水増量困難—

**問** 建設省と真名川土地改良区連合とのかんがい用水の更改期を3月末に控えているが、冬場の非かんがい用水3.5tの増量はどうか。

**答** 建設省は全国的に農業用水を減らす方針を打ち出している。今回の更改はあくまで農業用水の契約であって、その上に生活用水を増量することは別個の問題として、市がいろんな方法を考えて独自の権利を取るべき性質のものである。過去において建設省が権利を取れと言ってきた経緯もあったが、放棄したのは市の責任であるとの土地改良区の意見で

ある。増やして欲しいとの切実な願いはもっているが現行量を維持するのが精一ぱいである。しかし、今回当市は雪寒事業のモデル都市として指定を受けたので、県自体も水源地を真名川や清滝川に求めて、この水を赤根川へ流す計画を検討中である。この機会を捕えて当市も冬場の水を市街地へ流すべく国・県にも強く働き掛け、独自の権利を得るべく努力したい。

**問** 北陸電力が壁倉へ取水している水利権の一部を市へ持ってくることはどうか。更改期は61年末日となっているはずだが。

**答** 北電と県との協定で現在16tの既定の水利権を有している。農業用

ある。増やして欲しいとの切実な願いはもっているが現行量を維持するのが精一ぱいである。しかし、今回

水とは別個のこととして、今後話し合いを進めていきたいと考えているが、極めて難しい問題である。

**問** 市街地の通水能力は4.5tあると聞くが、56年2月の調査では0.87tしか流れていない。流水計画に問題があるのではないか。

**答** 57年1月、2月、3月の3回にわたって流雪溝、木瓜川、善導寺川の流水量を観測したが、その結果平均3.3t余りの水



が流れていた。今後も水路を整備し水の有効な利用を図っていきたい。

### 資料館建設について

**問** 資料館の建設は55年度の子定であったが、この計画は現在どうなっているのか。またその位置、方針を伺いたい。

**答** 教育の重要性と歴史の重みを感じることなくして、新しい時代の創造はないと言われている。この意味で資料館の建設は極めて大切な問題であるから、年次計画を立てて建設にまい進したい。

議案番号	件名	結果
第五十五号	昭和五十五年大野市歳入歳出決算認定について	認定
第一号	昭和五十七年度大野市一般会計予算	原案可決
第二号	昭和五十七年度大野市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
第三号	昭和五十七年度大野市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第四号	昭和五十七年度大野市水道事業会計予算	原案可決
第五号	昭和五十七年度大野市税の納期の特例に関する条例案	原案可決
第六号	大野市休日急患診療所設置及び管理に関する条例案	原案可決
第七号	大野市保健センター設置及び管理に関する条例案	原案可決
第八号	大野市教育振興基金設置条例案	原案可決
第九号	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十号	大野市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十一号	大野市手数料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十二号	大野市立学校設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十三号	大野市幼稚園設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十四号	大野市幼稚園入園料、保育料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十五号	大野市民会館条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十六号	大野市立保育所設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十七号	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十八号	大野市営住宅管理条例の一部を改正する条例案	原案可決

## 議案等の審議結果

### 市長再選出馬を表明

**問** 市長は豊かな大野市を築き上げるために、本年7月の市長選に再出馬する意図があるのか。

**答** この7月で1期目の任期が終わるが、市民のみなさんの支持が得られるならば、微力ではあるが、市民の付託にこたえるべく決意を新たにしている。

#### 市長就任以来の反省点は……

**問** 市長は就任後3年半になるが、反省すべきと思う点はないか。

**答** 53年7月重責を負って以来この7月で4年の任期を終えるが、市政について精一杯努力したつもりである。しかし力足らずの点もあったと思う。反省すべき点は多くあるが、自戒し新たな決意をもって市政を担当したい。

### 57年度予算案は臨調を踏まえての編成か

—内需高揚を図るため建設事業を重点に—

**問** 国家予算は前年度対比5.6%増に対し、当市は厳しい不況下にありながら県下七市でもトップの7.1%増という積極的な予算が組まれている。これは臨調を踏まえての編成か。また、明年度以降も積極的な編成を持続していく考えか。

**答** 国の行財政改革に併せて経費の節減、合理化等に特に留意し、当市の内需高揚を図るため積極的に建設事業を重点において編成した。明年度以降も健全財政に留意しながら、新規事業を多く取り入れ積極的な予算編成を行っていききたい。

### 越美北線の利用促進について

**問** 国鉄越前大野駅前の自転車置場は自転車置場の計画はどこまで進展したか。

**答** 有料業者との話し合いは条件付きで折り合いがついた。2ヵ所程度について話し合いをしており、早急に実現に向けて努力したい。

### 北大野駅前の整備は

**問** 北大野駅前の駐車場整備などの条件がそろっているので、同事業を進めてはどうか。

**答** 周辺整備については今後とも継続してやりたい。北大野駅東側の道路は農道であるから、整備に当たっては十分調査して実施したい。

都市計画街路上中野線については53年から60年をメドに進めているが多少遅れており、今後とも予算獲得に努力したい。57年度では大橋線から旧国道までを通行可能にするための工事を施行したい。

**利用促進の助成金が不足した場合**はどうなるか。

**問** 越美北線の利用促進費として300万円計上したが、不足した場合補正するのか。

**答** 不足すればその都度補正したい

### 勤労青少年ホームと公民館の運営について

**問** 現在両施設とも日曜休館になっているが、住民から日曜日の使用や終業時間の延長を要望している。これについての考えを伺いたい。

**答** 県下のホームと同一歩調でやっているの、よく協議した上で検討したい。



若人の触れ合い(勤労青少年ホーム)



歩道を埋めつくした自転車(大野駅前)

### 総合市民センター建設

—白紙に戻して立派な施設を—

**問** 58年度着工が予定されている総合市民センターは、基本計画で10億円の建設予算が組まれているが、今日の厳しい財政事情の中で一体どのぐらいまでの予算規模を考えているのか。

**答** 昨年来プロジェクトチームを作り検討してきたが、今回は一応白紙に戻して再検討したい。規模はセンターに入るものによって変わってくると思うが、出来る限り補助対策事業を受け入れ、金額についても10億円にとらわれずに、市民に喜ばれる立派なセンターを建設したい。

### 入札結果の公表について

**問** 談合問題が表面化している中で各市とも入札結果の公表を検討していると聞く。当市も公表を検討する時期にきていると思うが。

**答** 現在指名業者数を増やしている。入札結果の公表にはその方法や基準などに関し県内各市の状況を踏まえて十分検討したい。

### 地区集会場の建設について

**問** 集会場は明るいまちづくりの根幹をなすものであり、意欲的に推進して欲しいが、どうか。

**答** 行政を推進していく上で、集会場の役割は極めて大切である。今回の予算でも3カ所建設すべく4,500万円計上したが、今後とも計画的に建設していきたい。

### 繊維産業の不況対策について

**問** 繊維産業の不況は誠に厳しい状況にある。市の融資対策だけで果たして救済出来るか。国・県に対して当市独自の積極的な陳情活動が必要ではないか。

**答** 49年と今回の不況の違いは発展途上国の追い上げが最大の原因と聞く。当市も繊維業界の希望に沿って融資については最大の努力をした。今後業界と緊密な連携を取りながら国・県に対して苦しい実状を強く訴え、市もその上立って不況克服に最大の努力をしたい。

**問** 繊維業界では織機や建物などを買上げて欲しいとの要望もあると聞くが。

**答** 織機の廃止等については国・県に対して要望しているが、市が余り出過ぎるのもどうかと思う。業界自身も不況克服の方向が見付けにくいというほど困難な問題で、市としてはその時の変化に応じて業界と密接な連絡を取って対処したい。

### 国民健康保険税の値上げ

— 最小限にとどめる努力を —

**問** 今回の予算案に国保税は8.6%増を見込んでいるが、値上げは市民生活に及ぼす影響も大きく、極力抑制すべきと思うが、どうか。

**答** 56年度は国保税の値上げを見送ったので、財政調整基金より約4,700万円取り崩す予定である。2年間据え置くことは国保財政にも大きく影響するので、57年度は所得の伸び等



地域住民の話し合いの場(義景集会場)

も勘案して約4,800万円の増収を見込んだ。6月時点でないと市民所得が把握出来ないのも、税条例の改正は6月議会に提案したい。値上げは最小限にとどめるべく努力したい。

### 市営住宅の管理について

**問** 北部第二土地区画整理地区内に市営住宅の建設計画を進めているが建設されても全部入居できるものではなく、既存の市営住宅の環境整備についても努力してほしい。

**答** 市営住宅は木造が多く相当老朽化しているのも、毎年修繕費も多くなっている。周辺整備と併せて住宅の修繕に努力したい。市営住宅建設について本年調査費を計上したが、入居の状況等を十分把握した上でなければ、安易に着工は出来ない



老朽化した新在家市営住宅

### 青少年の非行化防止について

**問** 青少年の非行は急増し、低年齢化、悪質化等誠に憂慮すべき事態で国民的、社会的問題となっている。市はこの対策をどう考え、予算編成に当たりどのように配慮したか。

**答** 最近の非行は複雑化しているので、総合的な立場で解決しなければならない。環境浄化や教育的浄化を重点に取り組んでいきたい。また全市民の関心を高める運動や壮年会、婦人会、まちづくり協議会などにも協力を願っている。家庭・学校・社会教育面で警察や各関係機関などとも密接な関係を保ちながら、機動的有機的に対処し得る体制のもとで実践活動をしていきたい。

なお青少年の犯罪も広域化しているので、愛護センターを大野・勝山・和泉の二市一村の広域行政事務組合で、奥越を一本化した形で進めていきたい。

### 図書館建設と

### 図書充実について

**問** 図書館の建設について再三促進方を要望してきたが、建設計画はどうなっているのか。また図書を充実して欲しいとの声もあるが。

**答** 位置は決定していないが、図書館建設を望む声が高いので早急に着工できるよう努力する。また公民館の図書充実については財政の許す限り配慮したい。

### 都市計画区域の拡大

現行の 2.5倍に 住民の意向を踏まえて

問 都市計画区域を現行の2.5倍に広げたいとの意向であるが、メリットはどこにあるか。拡大によって固定資産税が高くなることはないか。  
答 区域を拡大することによって、いろいろの面で規制が行われ、田園都市としての特徴が保たれると考えている。建築について許可が必要となり制限されて不便な面もあるが、反面農村地帯における騒音や廃水などの公害問題で規制出来る点もあり都市としての一体性が保たれる。十

分住民の意向を踏まえて拡大したい  
固定資産税は高くなることはない。

### 北海道三石町との交流を今後とも進めていくのか

問 5年前から三石町と友好親善関係を結び交流してきたが、今回の予算には全く計上されていない。今後どう進めていくのか。  
答 前回訪問後の反省会でも、北海道の広大な土地を開発され、立派な町を築かれた先人の偉業に大きな感銘を受けたという意見が多かった。互いに代表団を派遣し招待するという従来の方式で今後とも交流を続けていきたい。予算についても必要に応じて配慮したい。

答 国でも年金の一元化について現在論議されている。市も成人式の際にパンフレットを出して加入促進に努力している。未加入者が140人ほどいるので、年金委員の方々とともに加入促進に努めている。

### 保健婦活動の強化

問 予防医療の充実が保健婦の活動によるところが多いと思うが。  
答 保健婦は従前国保の方に所属していたが、53年から一般会計の方へ所管替えになった。しかし今後予想される老人保健法の施行や高齢化社会への対応などで、国保の中でも今後の課題として考えていきたい。

### 高齢化社会への対応について

#### 予防医療の充実

問 高齢化社会の到来に伴い予防医療の充実が必要となってきている。当市も予防医療という面からトレーニングセンターやリハビリテーションの施設を早急に建設すべきと思うが、どうか。

答 保健センターを効果的に活用し予防医療には力を入れていきたい。センターの中に一部機能回復訓練施設を設置したが、現在国で審議中の老人保健法の成立と相まって、将来の方向として十分検討し整備すべく努力したい。

#### 国民年金制度の加入促進

問 国民年金制度は現在ピンチになっていると聞く。青年達の中には果たして将来年金が支給されるかと危ぶむ声もある。加入促進に力を入れていくしかないと思うが。



### 人 事

#### 固定資産評価審査委員会委員の再選に同意

小林 源左衛門氏(61歳)  
(大野市牛ヶ原第87号10番地)

#### 人権擁護委員候補者の推薦に同意

松田 定子氏(44歳)  
(大野市中野第35号8番地)

#### 当市の行政水準はどうか —住民への各種サービスの提供度合いは—

問 当市の行政水準すなわち住民への各種サービスの提供度合いや、住民福祉の増進に対する行政活動の対応は、他市と比較してどうか。特に社会教育の水準はどうか。

答 類似都市（産業構造や人口などが同程度の都市）と比較した数字は持っていないので、6月議会までに測定資料を提示したい。行政水準はあらゆる分野に渡る問題であり、個々については低いものもあり、特に施設については低い。しかし財政的には低いとは考えていない。今後とも行政水準の向上に努力したい。

社会教育の水準は他市と比較して多少劣っているので、今後予算的な面で十分注意していきたい。

#### 日中友好について —洛陽市との姉妹都市縁組は—

問 日中国交が回復して10年になる。県内他市の市長は今年眼鏡枠輸出の企画などを持って訪中すると聞く。当市は洛陽市との姉妹都市縁組を進める考えはないか。

答 日本と中国の国交についての考え方にはまだ差があるように思う。今後民間レベルで交流を十分に深めた上で、姉妹都市構想を検討したい。

# 昭和55年度歳入・歳出決算を認定

## 決算特別委員長の報告

第 196 回 12 月定例会で閉会中継続審査となっていた「昭和55年度大野市歳入・歳出決算認定について」決算特別委員会の審査報告があり、委員長報告どおり賛成多数で認定することに決しました。  
 なお、意見・要望の主なものは次のとおり。

### ①不燃物収集業務について

現在村部の不燃物収集は、委託業務から賃金雇用により行われているが、その収集についてとかく市民からの苦情、批判が多い。清掃行政の不信につながることになるので、業務遂行に当たっては規則を遵守し、適切な業務と市民サービスを常に心掛け、生活環境の保全と公衆衛生の向上に努めるべく指導強化を図られたい。

### ②都市計画街路事業推進のあり方について

本事業推進の中で道路敷地買収に際し、金銭・土地の両面にわたって行き過ぎた補償が行われている。厳しい財政事情の中で、このような補償のあり方は今後の道路事業遂行上大きな支障を来すので、慎重に対

処し、妥当なる価格で取り行われるよう強く要望する。

また市道の一部で賃貸借契約が行われているが、公共道路という見地から早急に買取されたい。

### ③国民健康保険税について

高齢化社会の到来に伴い老人医療費や高額療養費は増加の一途をたど

り、第二次臨時調査会の答申に見られるように国保財政は極めて厳しい状況にある。国保会計は独立採算を建前としており、国保財政の健全な運営は保険税の引き上げや国庫補助などにより、収支の均衡を図っていくことが、財政法上の前提条件であることは言うまでもない。しかし加入者の大半が老人ならびに低所得階層で占められている現状から考え、極度な税の引き上げは市民生活に及ぼす影響が大きい。当市の場合は療養費中老人医療費の占める割合は県下平均33%に比し40%にもなっており、この増が国保財政を圧迫している現状である。これらの諸事情を十分参酌し、一般会計から極力補てんを行い、税負担の軽減に努力するよう要望する。

昭和55年度大野市歳入・歳出決算総括表

会計区分	子算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	8,716,951,311	8,630,779,709	8,420,115,643	210,664,066
国民健康保険事業特別会計	1,409,522,000	1,411,651,760	1,375,215,032	36,436,728
簡易水道事業特別会計	103,072,000	93,815,086	90,007,141	3,807,945
北部土地区画整理事業特別会計	85,996,000	40,783,336	21,561,104	19,222,232
計	10,315,541,311	10,177,029,891	9,906,898,920	270,130,971

## 各委員会委員の改選

◎委員長 ○副委員長

### ●総務常任委員会

◎砂子 三郎 ○田原 哲也  
 兼井 藤波 西川 文人  
 林 保信 宮本 弘  
 米村 喜六

### ●産業経済常任委員会

◎飯岡彦兵衛 ○高津 靖生  
 大葎原 登 安田 武雄  
 角本 守 奥村 忠光

### ●建設常任委員会

◎松田 庄二 ○尾崎 坤一

栄 正夫 杉本夏男

高田新左エ門 山本 武

### ●教育民生常任委員会

◎石蔵 一郎 ○幅口 登  
 松田 太郎 羽生 長  
 平間 源治 斉藤 秀雄  
 推井 清男

### ●交通対策特別委員会

◎奥村 忠光 ○林 保信  
 飯岡彦兵衛 松田 庄二  
 幅口 登 大葎原 登  
 高津 靖生 杉本 夏男

角本 守 米村 喜六  
 平間 源治 山本 武

### ●総合市民センター建設特別委員会

◎推井 清男 ○西川 文人  
 松田 太郎 田原 哲也  
 尾崎 坤一 砂子 三郎  
 羽生 長 石蔵 一郎  
 栄 正夫 安田 武雄  
 斉藤 秀雄 高田新左エ門

### ●議会運営委員会

◎米村 喜六 ○石蔵 一郎  
 羽生 長 西川 文人  
 杉本 夏男 斉藤 秀雄  
 推井 清男 奥村 忠光  
 山本 武

# 委員会報告

## 各委員長報告から

### ● 産業経済委員会

#### ① 勤労者ならびに市民生活安定資金融資について

本問題については利用率の拡大を図るため、積極的にPRに努め、また利用手続きを簡略化するとともに融資枠に不足が生じた場合には弾力的に対処されたい。

#### ② 越美北線利用者に対する助成について

利用者への利便を図るため手続きを簡略化し、迅速に事務を処理して利用者の増進に努められたい。

#### ③ 水田利用再編対策について

市街地西部の赤根川流域の農地については、転作に対応するため農地の汎用化を図ることが肝要である。それには農業用水を確保することが先決であり、赤根川や清滝川などよりの取水を考え、併せて冬期間市街地への融雪水の利用計画についても十分検討されたい。



### ● 教育民生委員会

#### ① 保育児童数の減少に伴う対応策について

今日まで婦人の職場進出や児童福祉の重要性にかんがみ、保育行政の充実に力を注いできたが、昨今児童数の減少傾向に伴い保育行政への適正な対応が迫られてきている。このことは幼稚園にもその実態が如実に表われ、しかも幼児教育の重要性から幼・保一元化の問題が提起され、幼稚園と保育所の配置および運用について調整し、整合性を保つために制度の根本的なあり方を含めて検討されようとしている。地方自治体としても国が論議している問題と併行

して、独自の対策として児童数の動向を十分見極め、保育ニーズに対する住民の意向と幼稚園のもつ重要性を認識し、保育行政と幼稚園のあり方についての対応策を十分検討されたい。

#### ② 国民健康保険税軽減について

本問題については再三にわたって要望しているが、今回の当初予算でも8.5%増の税収を見込んでいる。このような税負担増は市民生活に及ぼす影響が大きいので、他市の状況等も十分調査して、6月定例会に提案予定の税率改正については、極力一般会計からの補てんを行い、税負担の軽減に努力されたい。

### ● 総務委員会

#### ① 大野・勝山地区広域行政事務組合の規約の一部変更について

これは従来市で行ってきた青少年愛護センターの事業を、隣接市村で広域的に共同処理することを目的とした変更であるが、広域化することによって、果たして青少年の育成、補導が充実強化するかどうかについて論議が集中した。青少年教育は学校、社会だけに依存すべきものではなく、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年の非行を未然に防止するためには何をなすべきかを真剣に考え、独自の機能を発揮しながら相互に補完、協力し合うことが大切である。とりわけ子供を主観的に見ている親の教育は重大である。こ

うした原点においてマンツウマン行政の重要性が考えられる中で、根底となるべき地域の強化が図られないまま、広域的に行うことはかえって地域の主体性を欠くこととなり、社会的依存度を強くするなど、青少年の育成活動の低下につながるのではないか。また広域化することの基本はどこにあるのかなどの意見が述べられた。確かに社会情勢の変化する中で青少年の非行化も広域化し、これに対応すべき情報の収集、交換を行い補導の強化を図ることも理解出来る。今後市自体における活動が低下することのないよう綿密な連絡調整を行い、教育行政の責任者である教育長の参画と併せて、組織形態の



強化と運営には万全を期して取り組むよう強く要望した。

### ● 建設委員会

#### ① 道路改良に伴う用地買収について

市単道路改良事業の用地買収単価については、今回の当初予算で多少は配慮されているが、補助事業の買収単価に比して余りにも格差が大きく、市民サイドに立った土木行政を推進する上で極めて不公平である。公共性があるとはいえ、市民に強要した買収の在り方には納得し難く、実態に即した適正な価格に引き上げるよう配慮方を強く要望した。

### 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願1号	集会場建設について	中荒井町1丁目区長 坪井 千蔵外4名	採 択
請願2号	「童子丸幹線水路」流量増加と関連整備工事の早期実現について	美里町区長 田中新一郎外2名	採 択
陳情1号	特産野菜生産安定事業基金積立(いちご)について	大野市特産野菜生産安定事業協会 理事長 大葎原 登	採 択
陳情2号	都市下水路緑橋川支線の早期改修について	若里区長 土本 輝一外3名	採 択
陳情3号	織物組合共同事業に対する助成金増額等について	大野織物工業協同組合 理事長 齊藤 政雄	採 択
陳情4号	市道編入について	柿ヶ島区長 山村喜一郎外2名	継続審査